

電源対策

－電源確保機器の多重性、独立性－



ワーキングの詳細
はこちらから

論点No.78、88

非常用発電機や配電盤などの電源設備について、同じ場所や地下にたくさん設置しても、火災や津波の侵入により全て一度に使えなくなり、意味がないのではないか。

第18回ワーキング
(2021.2.16) で議論

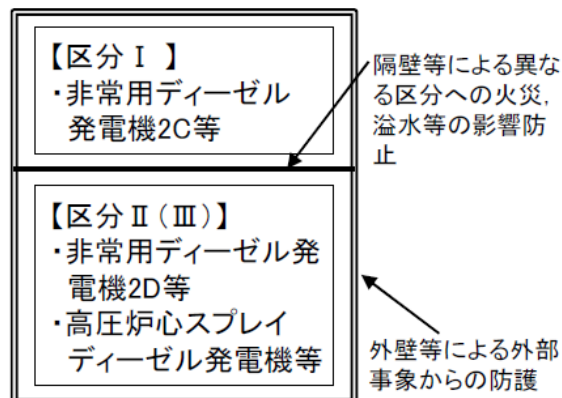
ワーキングチーム検証結果

電源設備は、火災などにより複数の系統が同時に機能喪失しないよう隔壁などで物理的に分離する他、バックアップとして追加した電源設備は、津波などで同時に使えなくなならないよう高台などに分散して配備されていることを確認

ワーキングチーム検証結果（抜粋）

○建屋内における物理的分離

- 非常用ディーゼル発電機や電源盤等は、同様の機能をもつ複数の系統が同時に機能を失わないよう、隔壁等による物理的分離などの対策を講じる。



○代替電源設備の位置的分散

- バックアップとなる代わりの電源設備は、地震、津波、火災等により同時に使えなくなならないよう、高台などに位置的に分散して配備。

